

2 コラム RAMPWAY
泉 麻人

特集 交通安全

5 交通工学の視点
東京大学 生産技術研究所 教授
大口 敬

9 総合的な「交通安全力」
警視庁 高速道路交通警察隊 隊長
濱野和己

13 データ物語
首都高の交通事故って…???

14 Taste of the Season
森下典子

16 首都高HEADLINE

18 business essay
健康長寿大国へ
事業構想大学院大学 理事・教授
ハーバード大学 医学部 客員教授
根来秀行

20 つくる人まもる人
首都高速道路株式会社
赤松諒亮

22 高速百景 中野正貴

contents produced by
Metropolitan Expressway Company Limited



illustration by Takao Nakagawa

column | RAMPWAY 32

首都高名所案内

奥池袋の風景

コラムニスト
泉 麻人

熊野町ジャンクションの熊野町は首都高のすぐ横の熊野神社に由来する町名だ。板橋には志村の方にかけて熊野神社がいくつか存在するが、ここは中丸熊野神社といって、中丸も川越街道の西側の町名に採用されている。僕は子供の頃、中落合に住んでいたので池袋の駅前からバスを使うことがよくあったが、西口に出ると「熊野町回り」とか「中丸町回り」とかの行先

を掲げた、緑色の国際興業バスが次から次へと走ってきたのを思い出す。だからこの辺はなんとなく、国際興業バスの緑色のエリアとしてイメージされている。

環6（山手通り）の東側は豊島区の池袋や池袋本町の領域になるけれど、いかにも「奥池袋」といった感じのダイープな裏町めいた雰囲気漂っていて、散歩好きにはおもしろい。と

くに近頃よく歩くのは、池袋西口のトキワ通りからずっと続いてくる旧道じみた筋だ。トキワ通りの名称が掲げられた駅に近いあたりは道幅も広いが、「昌庭之家」という中国人向けのビジネスホテルの先でぐっと道幅が狭まって、くねくねとへびのように湾曲した筋になる。緩やかに坂を下り始める頃から道の名は坂下通りとなっていて、古い商店もぼつぼつと残っている。大正時代創業の豆腐屋さんがあったり、「なみき食堂」という昭和30年代の舞台コメディイに出てくるような大衆食堂があったり。僕はこの店の豚シヨウガ焼きが大好きなのだが、アジフライやラポテトサラダやら冷奴やらの小皿を組み合わせて、好みの定食を作りあげるやり方もある。

（妹）だったのでイトコは何人もいたけれど、この要町の子は歳も近く、距離も離れていなかったのによく遊びに行った。姉のトモちゃんが僕の2つ上で、弟のアッチャンが1つ上。僕にも2つ下の弟がいたので、僕ら男の子3人はアッチャンをボスにして「3バカ大将」（アメリカのTVコメディイ）の真似事をよくしたおぼえがある。僕はカーリーという大ボケ役のカラが気に入っていて、何かというと彼が持ちネタにしていた白目をむくマネをやっていた。

先の坂下通りは環6にぶつかって、向こう側から庚申通りという狭い商店街が口を開けているが、これをウネウネ進んでいくと、アッチャンの家の裏手の商店街の方へ行く。

この通りも割と古い店が残っている方だが、さすがに50年（以上）前の記憶が重なる商店などはない。♪ウヒハ ヘンチクリン♪
久しぶりに、『3バカ大将』のテーマソングが思い浮かんできた。

坂下通りというくらいに、下った谷のところを川跡の暗渠道が交差している。もとの川は谷端川といって、昔の石神井川と千川上水の間をつないでいたような支流だ。この谷端川をちょっと南下した椎名町や要町のあたりは、大正から昭和戦前にかけて、池袋モンスターと呼ばれる芸術家一派の家やアトリエが散在していた地域。

わがイトコの家が、そんな要町の一角にあった。うちの父親は6人兄弟

いずみ あさと / 1956年、東京都新宿区生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。79年、東京ニュース通信社に入社。『週刊TVガイド』などの編集者を経て、フリーのコラムニスト。近著に『東京いい道、しぶい道』（中公新書ラクレ）がある。